

県機能基盤強化推進委員会 タブレット視察研修（JF 庵川）

県機能基盤強化推進委員会は7月31日にJF 庵川産地市場においてICTを活用したタブレット入札の市場視察を実施した。

①市場視察

使用状況についてJF 庵川担当者より、市場に入荷した魚種やキロ数をタブレットに入力する作業や、入札中のタブレットの使用方法について説明を受けた。

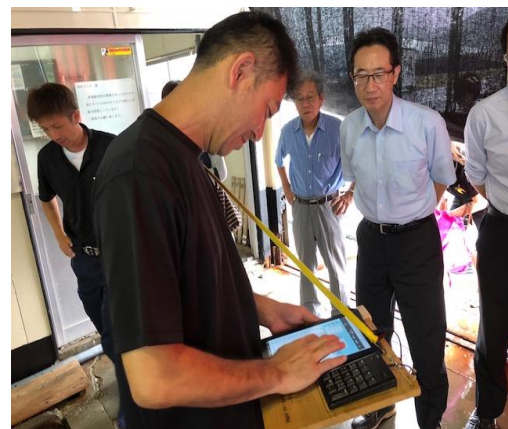
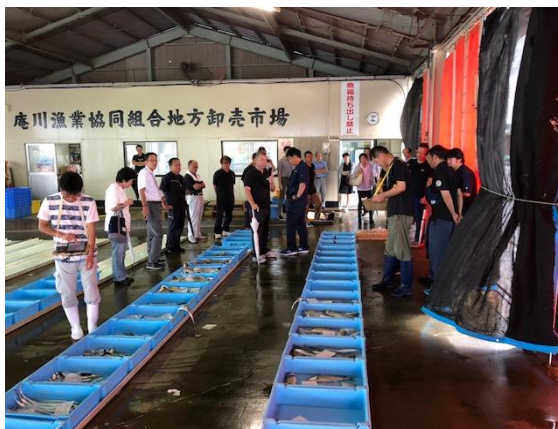
JF 庵川では入札の順番が決まっている鮮魚の入札のみで使用しており、活魚の入札は入札の順番が決まっていないため、タブレットは使用していない。また、入力データーが損傷した際のリスク対応として、経過措置として紙でも入荷品のデーターを記載している。

入札が全て終了した後、漁協事務所に移動し、タブレットに入力された入札データーをパソコンに転送し仕切り書が出来上がるまでの事務処理作業を見学した。

②意見交換会

タブレットメーカーの(株)三友よりタブレットの概要について説明を受けた後、現在使用している4漁協(JF 延岡市・JF 庵川・JF 門川・JF 日向市)より、導入に伴うメリットや改善点について報告を受けた。

参加者した他JF から、各々の市場へのタブレットの導入の可能性について多くの質疑が出され、有意義な研修となった。



タブレットへの事前入力作業中（魚種・キロ数）



タブレットのデータをパソコンへ転送作業中



意見交換会